



事務局(連絡先) NPO法人 Azuma-re  
〒987-2216 栗原市築館伊豆二丁目6番1号  
市民活動支援センター貸事務室2  
☎Fax 0228-22-1905  
携帯 090-5597-2732  
Email(代表) Kurihara.tn@gmail.com

## くりはらツーリズムネットワーク会員紹介!!

### ○一迫地区の木工品作り「工房みつづか」を紹介します!!

自宅兼工房は、一迫真坂の商店街の通りにあり、「工房みつづか」と独特の書体の木製看板を見つけることができます。

ご主人の三塚一信さんは、家大工さんの長男として生まれ学校を出た後、父の指導で大工となり、数多くの日本建築住宅を建てて来た方ですが、その他に寺院の建築にも携わり、日本建築の良さ、木の温もりの良さを熟知されている方です。自分で年齢を感じるようになった65歳の時に、家大工を廃業しましたが、その後、家大工であった父は元来指物を得意としていたことから、父に教えられた指物に興味をもたれ、たん笥等を作るようになり現在は木工品づくりに情熱を燃やしています。



店の前にある看板  
工房 みつづか



店内にある作品の一部

普通の民家の玄関のように見える所に、木工品が所狭しと、陳列されています。一番初めに目につくのが総桐のたん笥、そして、ハツ鹿踊りの置物、木製火鉢、幸せを集めるチリトリ、米びつ、小物たん笥、等々です。

特に、工房自慢のスローステップスタンドが目につき、聞いてみると「このスタンドに上ったり下がったりする事で、寒い時期の運動不足を解消できます。」と話されました。

また、工房では古くなったたん笥等の再生も数多く手がけています。

今の自分の仕事について三塚さんに聞いてみました…「子どもの頃から木との生活です、日本の木材の良さをもっともっと探究したいです。どんな木はしでも心をこめて加工すれば立派な製品になります。これからも皆と一緒に生活に溶け込む小物等を作っていきたいです。また、お客様の希望があれば一緒に小物を作りたいです。」と今日も木工品づくりに励んでいます。

### 工房 みつづか(三塚 一信)

所在地: 栗原市一迫真坂字荒町 26-1 番地

電話: 0228-52-2253

営業時間: 午前9時~午後4時

定休日: 不定休



こちらが一部作業場。

工房自慢のスローステップスタンド(スタンドに上がったたり下がったりする台)も販売。

NHK テレビ「ためしてガッテン」で見た製品に、指圧機能を付け足裏マッサージも出来ます。

今からの時季花粉症で外出するのが苦手な方に、この商品を使えば家の中で健康づくりに最適です。

## KHB 東日本放送「Jチャンネル」のテレビ取材

2月23日(水)に放送しました！！

くりはら博覧会「らいん」のテレビ取材依頼(KHB 報道奥村奈津美アナウンサー)電話が1月末に事務局にありました。「くりはら博覧会「らいん」の特集を組みたいので、栗原らしいプログラム2つを取材させて頂きたい。自らプログラム体験をして視聴者に伝えたい！」という内容でした。事務局の独断で下記のプログラムの方々に協力をお願いしました。

2月14日(月):くりはらツーリズムネットワーク小野寺 敬会長、プログラムNo.17 羽後岐街道「長屋門」巡り(主管:くりはら輝き隊 菅原 敏允さん) 2月15日(火):プログラムNo.19 花山さまさま体験(主管:ルーラルガイド 千葉 優子さん、山菜茶屋 ざらぼう 伊藤 廣司さん)

2日間にわたり、KHB 報道アナウンサーの奥村奈津美さんがプログラムの体験をしながら取材撮影が行なわれました。



羽後岐街道「長屋門」巡り

くりはら磨き隊 菅原敏允さん、小野寺敬会長、奥村アナウンサー



千葉優子さんとこんにゃく作り体験中(撮影中)

### くりはらツーリズムネットワーク研究事業

## インストラクター講習会

主催日:2011年2月16日(水)19:00~21:30

17日(木)13:00~15:30

主催場所:栗原市市民活動支援センター2階 多目的室

講師:多世代はうす 文字倶楽部

馬渡達也氏

主催:くりはらツーリズムネットワーク

共催:宮城県北部地方振興事務所

○ 2月16日(水)19:00~21:00 参加者:14名

2月17日(木)13:00~15:00 参加者:12名

2日間で26名の会員の方が参加されました

内容:(1)インストラクターの役割

(2)プログラムの企画・運営

(3)安全対策

(4)その他



多世代はうす 文字倶楽部

馬渡達也氏

これからプログラムを提供する人は、くりはらツーリズムの「インストラクター」として参加者とコミュニケーションを形成しながら、地域の生活文化や産業、歴史、風土、自然、食などを感じてもらい栗原市に対して興味を持つように促すことが役割となります。プログラムを提供する人を「インストラクター」として、その役割やプログラムの企画・運営の方法、安全管理などの基本を学びました。

2011年2月26日(土)

プライベート 坊の蔵

搾りたての新酒を味わう そば談義

時間:16:30~20:00

参加者:16名



1人ずつそばだんご作り体験中



お酒も入り、この後、談義に花が咲く

オープニングを前にしてのプライベートを坊の蔵で行いました。多くの方々に参加していただき、無事にプライベートを終了することが出来ました。

蕎麦農場 坊の蔵

所在地: 栗原市花山字本沢大田 7-1

電話/FAX: 0228-56-2777

さあ~いよいよ本番!!

皆さんで、くりはらツーリズムネットワークの「くりはら博覧会“らいいん”」を盛り上げていきましょう。

## 平成 22 年度 臨時総会を行ないました。

とき 平成 23 年 2 月 18 日(金)午後 2 時  
ところ 栗原市市民活動支援センター大会議室

- 1、開 会
- 2、挨 拶
- 3、議長選出
- 4、議事録著名人の指名並びに書記の指名
- 5、議 事
  - ・ 第 1 号議案 ふるさと雇用再生特別基金事業 22 年度  
ニューツーリズム創出事業業務の委託について
  - ・ 第 2 号議案 役員を選出について
  - ・ 第 3 号議案 規約の改正について
- 6、その他
- 7、閉 会

臨時総会には、20名の会員の方がお集まりになりました。  
お忙しい中ありがとうございました。



臨時総会中



臨時総会中

みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会公開フォーラム・

宮城大学事業構想学部オープン講座の知らせ

「魅せる、農村景観 ～守る、活かす、みやぎの農山漁村～」

山田 泰司氏(「パシフィックコンサルタンツ株式会社情報事業本部文化経済政策課長

NPO 法人「日本で最も美しい村」連合資格審査委員)

「大地に根ざした地域の暮らし」から、地域や集落を活性化するためのキーワード

「暮らしが育む美しい農村景観(むらなみ)」をテーマに語ります。

後半は、宮原育子氏(宮城大学教授)を「つなぎて」に車座トーク

開催日時:平成23年3月10日(木) 13時から16時(受付12時30分～13時)

開催場所:宮城大学大和キャンパス 4階 403講義室

参加対象:みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会会員、グリーン・ツーリズム実践者、  
農村景観に興味のある方などなたでも参加出来ます。(宮城大学公開講座となっています)

定員:100名程度

参加費:無料

内 容:13:00 開会

13:05～14:15 (1) 講義 『暮らしが育む美しい農村(むら)景観(なみ)』

講師 パシフィックコンサルタンツ(株)文化経済政策課長 山田 泰司 氏

14:15～14:25 休憩(コーヒーブレイク)

14:25～15:55 (2) 車座トーク『みやぎの農村景観を考える』

話し手 パシフィックコンサルタンツ(株)文化経済政策課長 山田泰司 氏

話し手 行政関係者

つなぎ手 公立大学法人宮城大学事業構想学部 教授 宮原育子 氏

15:55～16:00 閉会

参加申込みが必要です。3月8日までお申し込みください。

《申し込み・問い合わせ先》

宮城県農林水産部農村振興課 TEL 022-211-2863 FAX 022-211-2890

Email:info@gtmiyagi.com

主催 みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会、宮城大学地域連携センター、宮城県

香港からのお客様 いちご狩り体験 in 農場直売所たんぽぽ

2011年2月5日(土) 旧正月の休暇を日本で過ごそうと香港から一家17名が栗原の地に訪れました。インターネットで、志波姫農場直売所たんぽぽの「いちご狩り体験」を知り、国際電話で予約をしたそうです。チャン・ミリさん(大学生)は、「香港・中国のいちごはこんなに赤くない!」「日本のいちごは大きくて甘く、おいしい!!」と、いちご狩りを楽しんでいました。



くりはら博覧会「らいん」

プログラムNo.9 ハウスいちご摘み取り体験

日 時:3月6日,13日,20日,27日(各日曜日) 10:00～12:00

会 場:志波姫農家直売所たんぽぽ(栗原市志波姫新沼崎105)

参加費:1,800円(3歳～小学4年生1,200円,3歳未満無料)

主 管:有限会社 グローバルベリーファームそね

申込み先:くりはらツーリズムネットワーク事務局(NPO法人あづまーれ)

時 間:10:00～17:30